

2023年度

国語入試問題

(2022年11月13日実施)

座席番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

[注意]

1. 試験監督者の指示があるまで、問題冊子や筆記用具に触れないでください。触れた場合は、不正行為とみなすことがあります。
2. 試験中の使用が認められたもの以外は、すべてカバンに収納すること。使用用具は、黒鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（手動式・小型に限る）とし、それ以外の使用は認めません。
3. 携帯電話、スマートフォン、イヤホン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダーなどの電子機器類は、必ず電源を切ってから、カバンに収納すること。
4. 試験開始の合図により、試験を始めてください。
5. 解答は、すべて「解答用紙」の所定の欄に記入すること。
6. 試験終了の合図とともに直ちに筆記用具を置いてください。試験終了後に解答用紙や筆記用具に触れた場合は、不正行為とみなすことがあります。試験監督者が指示するまで、絶対に席を立たないでください。
7. 問題冊子および解答用紙は、試験終了後にすべて回収するので、持ち帰ってはいけません。

問題Ⅰ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

1980年代以降のメディア変容のなかで、それまで自明視されていたさまざまなメディアの概念が揺らいでいきました。例えば電話は、ダイヤル式の黒電話が主流であった1970年代まで、多くの人々にとって用件伝達のための1対1の会話のメディアという以上のもではありませんでした。少なくともこの時代、このメディアのイメージは明瞭で、機能も一義的に定まっていると思われるのです。

A 80年代以降、多機能電話やFAX、そしてポケベルや携帯電話、PHSといった新しい「電話のようなもの」が次々に登場し、普及していきます。パソコン通信からインターネットまでの情報のやりとりも、多くの場合は電話回線を利用していきます。そして他方で、インターネット電話やCATV回線を利用した電話など、^(a)ジュウライの回線電話とは異なる電話も登場し、電話の料金体系も多様化していきます。このようななかで、今日ではもう「電話」と「電話ならざるもの」の境界線はかつてよりはるかに曖昧です。

(1) 同様の変化は、テレビにも起こりました。一昔前まで、多くの人々にとって、テレビは地上波放送の受信機以外のものではありませんでした。そしてこの地上波が家庭のなかに据えられたテレビ受信機の画面を独占することで、マス・コミュニケーションとしてのテレビ放送が国民全体に支配的な影響力を誇ってきたのです。ところが1980年代以降、一方では家庭用ビデオが普及し、テレビは各種のビデオ映像を観^みる装置ともなり、他方では家庭用テレビゲーム機の普及により、テレビはゲームの画面ともなっていました。さらにCATVや^(b)エイセイ放送からデジタル化までの流れのなかで、「テレビ」の輪郭はますます曖昧になってきています。今日ではテレビ受信機とパソコンとの融合化が進んでおり、いずれテレビはパソコンのひとつの機能にすぎなくなってしまうかもしれません。

このような最近のいくつかの変化からわかることは、⁽²⁾「電話」とか「テレビ」といったメディアは、実のところ社会的に構成されたカテゴリーにはかならないということです。「放送」にしても、「映画」にしても、「新聞」にしても、それぞれのメディアのカテゴリーは何らかの技術的発明の所産なのではなく、そもそも社会的実践の絡まり合いのなかで構成されてきたものです。私たちが、映画を論じ、テレビを論じ、雑誌や新聞を論じるとき、そのようにして論じているメディア領域を所与の前提とすることはできません。むしろ、映画なりテレビなりを論じるならば、そもそもそうした「映画」や「テレビ」として構成されるメディアの場とは何なのかを、つまりそれぞれのカテゴリーを成立させる場としてのメディアに問いを投げ返していかなるをえないのです。メディア研究とは、このようにして諸分野を越境していく視座から照らし出されていく認識の地平です。私たちは、最初からいくつかのメディアが独立してあり、それらを括^{くく}る集合としてメディア全体を考えるとどうかたちではなく、むしろ逆に、社会的実践が交差する諸々のI^(注)で、それぞれのカテゴリーやその実践、制度、装置がどのように創出されてきたのかを考えなければなりません。

ところで、メディア(media)とはもともと、ラテン語のmedium(「中間の」を意味)から派生した言葉で、16世紀後期から使われ始め、17世紀初期までに介在的もしくは中間的な働きを意味するようになったといえます。ウイリアムズは『キーワード辞典』で、バートンが17世紀

初頭に「視覚には対象、器官、メデイウムという3つのものが必要である」と語り、^(注2) ベイコンが「言葉というメデイウムによって表現された」と語ったことを例に挙げています。これらの用例から、初期にはメディア概念が伝達作用やコミュニケーション媒体に限定されてはいなかったことがわかります。B、初期にあつてメディア概念は、ラテン語の *mediare*（「半分に分ける」「中間を占める」「仲裁・和解する」等の意）から派生した *media tion* などとも深く結び付いた言葉だったのです。そして、この場合の「仲裁・和解する」という意味には、物質的、心的な介入の働きだけでなく、神と人間、精神と世界、観念と客体の調停という次元までもが含まれていたのです。

このように、物質的・心的な媒介から宗教的な媒介までを内包した⁽³⁾ 早い段階でのメディア概念を基礎にしながら、18、19世紀には新聞をメディアの一種として理解する考え方が広がっていきます。そして20世紀に至るまでの歴史のなかで、新聞から映画やラジオなどに代表されるマス・メディアまでが社会的な現実の構成にとって決定的な作用を及ぼすようになってくると、メディアとは、もっぱらそうした情報媒体のことをさすのだという認識のほうが支配的になっていきました。逆にいうなら、まさに19世紀以降の情報コミュニケーション手段の技術的發展のなかで、そもその媒介的・仲裁的な作用としてのメディアという概念、つまり意識や思考とその対象物、さらには精神的、超越的な世界を媒介するものとしてのメディアという概念は、しだいに背景に退けられていったのです。

こうして20世紀を通じ、メディアとは送り手から受け手へのメッセージ伝達を媒介する手段なのだという考え方が広まっていきました。この考え方を典型的に示したのは、電信のような信号伝達をモデルにした通信理論ですが、ほかにもラジオからテレビに至る放送をめぐるマス・コミュニケーション研究が發展するなかで、メディアが有する媒体としての透明性が強調されていきます。この考え方からするならば、メディアとは要するに情報伝達の機器そのものであり、それを通じて伝達される情報、つまりはメッセージとは明確に区別することができるというわけでした。このような意味でのメディアは、コミュニケーションのIIではあるけれども、コミュニケーションの内容には関わりませんから、それほど重要というわけではありません。結局のところ、マス・コミュニケーション研究では、メディアはコミュニケーションのための技術的IIIであるとして考察の外におかれ、メッセージと受け手の関係に研究の関心が集中していくことになりました。

そして1960年代、このような⁽⁴⁾メディア概念の透明化に対し、さまざまな批判が沸き上がっていきます。当時、この批判に先鞭^(注5)をつけ、またそれを代表もしたのは^(注6)マクルーハンでした。「メディアはメッセージ」という彼のすでに古典的な一言は、マス・コミュニケーション研究の急所を衝き、そこで⁽⁵⁾等閑視されてきたメディア概念に、再び媒介的・仲裁的な作用を奪還させようとしたものでした。しかしながら、ここで大変重要なのは、おそらくマクルーハン以前にも、通信理論やマス・コミュニケーション研究がメディアの概念を技術的なものに還元していった流れと並行して、そのような動きとは対抗するメディアへの視点もまた深められていたことに気づくことです。すなわち、この20世紀におけるもうひとつのメディア概念の水脈を成していたのは、例えば^(注7)ベンヤミンのような思想家が考えていた「言語」の^(注8)マテリアルな次元についての^(c)ドウサツです。

ベンヤミンは言語の非手段性、つまり意味は言語を通して伝わるのではなく、むしろ言語において実現するのだということを理解していました。この場合、言語は最も原型的なメディアであり、そのメディアとは何らかの外の意味を伝達する媒体というよりも、それ自身が意味を成立させているトポス^(注6)なのです。こうした考え方を発展させるなら、当然、この言語のマテリアルな次元、つまり声や手書きの手紙、ビラや貼り紙、^(d) インサツされた新聞、製本された書物、現像された写真、レコード盤や映画のフィルムといったモノとしてのメディアのひとつひとつが、まさしく言語そのもの、あるいはメッセージそのものでもあるということになります。20世紀の支配的な言語理論が、どちらかというとと言語の形式的な次元をマテリアルな次元から切り離してきたのとは異なつて、ベンヤミンの言語概念は、むしろ⁽⁶⁾ 言語のメディア性、あるいはメディアの言語的な可能性を明らかにしてきました。マクルーハンの「メディアはメッセージ」というセンセーショナルな一言は、まさしくこうしたベンヤミン以来のメディア概念の水脈を要約するものだったのです。

こうしてマクルーハン以降、マス・コミュニケーション研究が抱え込んでいた近代主義的前提がさまざまに批判されていくなかで、メディアをコミュニケーションの単なる **IV** とみるのではなく、むしろ相互主観的な関係のなかで意味が成立する **V** そのものであると考えるような視点が少しずつ広まってきました。さらに言うなら、このようにしてメディアにおいて意味が成立していく相互主観的なプロセスは、実のところ送り手から受け手への意味の伝達、いわゆるコミュニケーションというよりも、むしろ何重にも^(e) オリ重なる^(注7) メディアエーション、意味が調停されていく過程であるとの認識も浮上してきました。ちょうど文学作品の翻訳が、一方の言語から他方の言語へのたんなる移し替えではなく、一方の言語において成立した意味が、他方の言語のなかで構成され直していく、つまり連鎖的な媒介と調停のプロセスであるのと同じように、日常のさまざまなメディアにおいて実現しているのは、一方の送り手から他方の受け手への意味の伝達というよりも、そのメディアに関わるさまざまな主体の間での連鎖的な語り直しや調整のプロセスなのです。

(吉見俊哉『メディア文化論』)

(注1) ウィリアムズ……レイモンド・ウィリアムズ。イギリスの小説家・批評家(一九二一～一九八八)。

(注2) ベイコン……フランシス・ベーコン。イギリスの哲学者・政治家(一五六一～一六二六)。

(注3) マクルーハン……マーシャル・マクルーハン。カナダの文学者・批評家(一九一一～一九八〇)。

(注4) ベンヤミン……ヴァルター・ベンヤミン。ドイツの思想家・批評家(一八九二～一九四〇)。

(注5) マテリアル……物質的。

(注6) トポス……場所。場。

(注7) メディアエーション……調停。仲介。

問1 傍線部(a)～(e)と同じ漢字を含む語を、次の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は、

- (a) 1、(b) 2、(c) 3、(d) 4、(e) 5。

(a) ジュウライ

1

- ① 途中で道の険しさにナンジュウした。
② 戦場で軍医がジュウソウの手当てをする。
③ 成功するまでには何度もクジュウをなめた。
④ 甘い言葉でカイジュウされてはならない。
⑤ 組合の活動にセンジュウしている。

(b) エイセイ

2

- ① かつてこの地に古代都市がハンエイした。
② あの人はエイビンな感受性の持ち主だ。
③ この土地にエイジュウすることに決めた。
④ 重要人物をゴエイする任務にあたった。
⑤ 美しい詩の一節を高々とロウエイした。

(c) ドウサツ

3

- ① 心にぼつかりとクウドウがあいた。
② 飛行機が緊急でドウタイ着陸をした。
③ 子供がかわいい声でドウヨウを歌う。
④ 彼は野球のデンドウ入りを果たした。
⑤ フンドウを使って目方をはかった。

(d) インサツ

4

- ① 棚に並んでいる本のサツスウを数えた。
② 市民の抗議をモクサツすることはできない。
③ 古びた制度をサツシンする必要がある。
④ 転んで膝にサツカショウをつくった。
⑤ コンピュータを駆使したトクサツ映画だ。

(e) オリ

5

- ① 飲食代は二人でセツパンすることにした。
② セットウの罪はけっして軽くはない。
③ 技術はチセツだが味わいの深い作品だ。
④ ビタミンのセツシユが足りずに体調を崩す。
⑤ 先日の敗戦のセツジヨクを果たす好機だ。

問2 空欄 A・B に入る最も適当な言葉を、次の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

解答番号は、A 、B 。

A ① 例えば ② ところで ③ ところが

④ そして ⑤ すなわち

B ① よしんば ② むしろ

③ しかし

④ ただし ⑤ まして

問3 傍線部(1)「同様の変化は、テレビにも起こりました。」とあるが、どのような変化が起こった

のか。何と「同様」なのかを に記入した上で、どのような変化なのか に三十字

以内で説明しなさい。解答番号は、。 の字数は三十字に含まない。

と同様に、テレビについても、

という変化が起こった。

問4 傍線部(2)「『電話』とか『テレビ』といったメディアは、実のところ社会的に構成されたカテゴリーにほかならない」とあるが、次のア～オは「社会的に構成されたカテゴリー」として「メディア」を見た場合について述べたものである。筆者の考えに合致するものをすべて選んだ組み合わせとして最も適当なものを、後から一つ選びなさい。解答番号は、9。

ア さまざまな社会的な営みが行われるなかで、メディアがどのように立ち現れるかという問題を考察していく必要がある。

イ メッセージの内容の研究とは独立した形で、メディアが社会にもたらす影響を考察する必要がある。

ウ 社会的なメッセージを偏見にとられずいっそう正確に伝えることを、メディアに対して望む必要がある。

エ 複数のメディアが、社会のなかにおいてどのように関連し合っているかという問題を考察する必要がある。

オ ある一つのメディアが、社会の成員の大多数に対して支配的な影響力をもたらすことを期待していく必要がある。

- ① ア・ウ
- ② ア・エ
- ③ イ・オ
- ④ ア・ウ・エ
- ⑤ イ・ウ・オ

問5 空欄 I V には、①「前提」か②「場」のいずれかが入る。空欄に入る語の組み合わせとして最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は、10。

- | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| I | I | I | I | I |
| (a) | (a) | (b) | (b) | (b) |
| II | II | II | II | II |
| (b) | (b) | (a) | (a) | (a) |
| III | III | III | III | III |
| (b) | (a) | (a) | (a) | (b) |
| IV | IV | IV | IV | IV |
| (b) | (a) | (b) | (a) | (a) |
| V | V | V | V | V |
| (a) | (b) | (a) | (b) | (b) |

問6 傍線部(3)「早い段階でのメディア概念」とあるが、これに関する説明として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は、11。

- ① この「早い段階でのメディア概念」が伝えるメッセージとメディアとの機能には大きな違いがあるということを、マクルーハンとベンヤミンはそれぞれ指摘した。
- ② この「早い段階でのメディア概念」はメディアに媒介的・仲裁的な機能があることを示唆していたが、マクルーハンをマス・コミュニケーション研究によって実証した。
- ③ この「早い段階でのメディア概念」によってメディアとはメッセージ媒介の手段であるという考えが広まったが、マクルーハンとベンヤミンは協同してその誤解を取り払った。
- ④ この「早い段階でのメディア概念」によって示されていたメディアの媒介的・仲裁的な働きはその後忘れられつつあったが、マクルーハンはそうした傾向に異を唱えた。
- ⑤ この「早い段階でのメディア概念」を基礎として発展した新聞や映画、ラジオなどのマス・メディアは、単なる情報媒体にすぎなかったことをマクルーハンが看破した。

問7 傍線部(4)「メディア概念の透明化」とあるが、これはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は、12。

- ① メディア概念に含まれている媒介的・仲裁的作用の実態を、隠さずに説明するべきだと考えられるようになったこと。
- ② メディアとはメッセージの媒介手段であるというメディア概念を、隠さずに明確に示すべきだと考えられるようになったこと。
- ③ メディア概念に媒介的・仲裁的な性質を取り戻し、メッセージを創造する手段として機能させるべきだと考えられるようになったこと。
- ④ メディアはメッセージを主観でゆがめたり変更したりすることなく、送り手と受け手を仲裁すべきだと考えられるようになったこと。
- ⑤ メディアはメッセージとは切り離された存在であり、コミュニケーションの内容とは無関係だと考えられるようになったこと。

問8 傍線部(5)「等閑視されてきた」の、本文における意味として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は、13。

- ① 買いかぶられてきた
- ② 目の敵かたきにされてきた
- ③ なおざりにされてきた
- ④ 十把じっばひとからげにされてきた
- ⑤ 履きちがえられてきた

問9 傍線部(6)「言語のメディア性」の説明として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は、14。

- ① 言語は物質的存在と結び付いて立ち現れ、意味をつくりあげる存在であるということ。
- ② 言語は物質的存在と重なることで、意味の伝達というメディアの機能を全うするということ。
- ③ 原始的な言語というメディアが、物質的存在という原始的な存在と重なるということ。
- ④ 媒体としての言語は、物質的存在に記されてはじめて意味のある存在になるということ。
- ⑤ 言語はそれ自体が伝達者であるという性質によって、物質をメディア化するということ。

問10 本文の内容に合致するものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は、15。

- ① 言語は意味を伝える手段ではなく意味を実現するメディアだとするベンヤミンの考えは、通信理論やマス・コミュニケーション研究におけるメディア観に対抗する思想だった。
- ② メディアを通じてメッセージを伝え合う日常のコミュニケーションも、文学作品の翻訳と同じように、それぞれの主体間に成立する相互主観的な語り直しや調整のプロセスである。
- ③ 写真やレコード盤、映画のフィルムといったモノは、それがなんらかの意味を成立させるという視点で見ると、メッセージとは別の在りようを持った一種の言語だと考えられる。
- ④ 技術の進歩とともに、電話やテレビといった個別のメディアの使用法が変化してきたことを踏まえると、メディアは技術によって生まれ、進化していくものだとと言える。
- ⑤ 「メディアはメッセージ」というマクルーハンの言葉は、メディアとはメッセージ伝達を媒介する手段だとするマス・コミュニケーション研究の本質を端的に言い表している。

問題Ⅱ

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。なお、設問の都合で本文の段落に①～⑭の番号を付してある。

- ① 日本にはいま国立美術館が五つある。東京にあるのが近代美術館、西洋美術館、新美術館の三つ、京都にあるのが近代美術館、大阪にあるのが国際美術館である。国立の博物館は東京、京都、奈良、福岡にある。それともちろん公立、私立の美術館、博物館も多数あるのはご存知のとおり。
- ② アメリカは国立が三つ。ナショナル・ギャラリーとアフリカ美術館、スミソニアン博物館（連邦政府の財源と寄付などで成り立つ。一九の博物館などから成る）である。
- ③ イギリスは大英博物館、ナショナル・ギャラリー、スコットランド国立博物館、ヴィクトリア&アルバート博物館、テート・ギャラリーなどの一七館。
- ④ フランスはパリ市内だけでルーブル、オランジュリー、オルセー、ギメ（東洋美術館）、ピカソ、ドラクロワ、モロー、グラン・パレなど一三館、全国で三四館を数える。
- ⑤ こう挙げてきたのは、A、ということをお願いがためである。Bという国柄であることもあって、文化は「民間と地方」主体で行われるべきだ、と考えているのだろう。日本では国民皆が参加する皆保険が当たり前になっているが、Cというわけではない。
- ⑥ ではどういう仕組みで国立・州立・郡立・市立でないアメリカの美術館が成り立っているかという点、基本的には市民の寄付（ドネーション）とファン^{（注）}ド運用、美術館収入によってなされている。節税対策だとしても、高額な寄付をするリッチな人々の貢献度が高いことはもちろんで、例えばメトロポリタン美術館は、一九世紀後半に「パリのアメリカ人」たちが母国にヨーロッパのような大規模美術館がないのを憂えてつくった経緯があり、そもそも成立がそういう事情だから、市民が自分たちでつくったという感覚になるのも当然である。
- ⑦ 日本は明治になって西洋をまねて急いで博物館をつくり出した事情もあって、どうしても官製の匂いが強く、私立の美術館も数は多いが、どうしても個人美術館になつてしまい、複数のオーナーによるファン^{（注）}ド運用で運営する美術館もないので、残念ながらスケールはメトロポリタンなどには遠く及ばない。

I

- ⑧ 日本美術に限っていえば、^{（注）}美術館の登場によってある意味、美術が身近なものから遠く隔たつてしまったともいえる。それまでは家の床の間や違い棚に何かしら飾つたりしていたものが、住居の洋風化が進むほどに、そういうスペースがなくなり、元々壁に掛けて絵を楽しむ^{（a）} シュウカンもなかったために、どんどん家の中からアートがなくなつていった。

II

- ⑨ 西洋は日本の「用の美」とは違って、純粹鑑賞の世界である。美術品は壁に掛けて、日々眺める接し方で、それは家屋が壁で強固に仕切られる文化だということと関連しているのだろう。
- ⑩ 私は昨今の琳派^{（注）}を筆頭とする古典絵画の人氣、また日本の現代美術家がこぞって古典をモチーフとした作品を制作する背景には、もしかしたらすでに無くなったものへの日本人のノスタルジー

が背景にあるのではないか、と考えている。

III

11 (2) 真の意味での「市民美術館」といえば、金沢21世紀美術館がその展示法の斬新さや、市内のレストランとコラボするといった新しい試みを始め、全国の注目を浴びたが、そこには一般市民に現代美術を分かりやすく身近にした^(b)コウセキと、大人のみならず特に子供に「美術館が自分たちのものになった」という喜びをもたらした効果があったのではないかと思う。

12 またNHKの「新日本風土記」で、岡山県倉敷市の大原美術館を扱っていたことがある。同美術館は昭和五年（一九三〇）の開設で、クラボウ、クラレを創業した倉敷生まれの事業家、大原孫三郎^{ろくろ}が創立した。大原は自分が目をかけていた画家の児島虎次郎^{こじまとら}の目利きによって、西洋美術の優品を購入し、西洋美術と近代美術を展示する日本初の美術館となった。

13 同美術館にはエル・グレコの「受胎告知」やモネの「睡蓮^{すいれん}」、セザンヌの「水浴」やゴーギャンの「かくわしき大地」、関根正二^{せきねしやうじ}「信仰の悲しみ」など、オールドマスターから印象派、東西近代絵画、工芸、日本現代美術、オリエント・イスラム古美術までが揃う。

14 その番組では、老婆が毎朝、散歩コースの目的地になっている美術館にやってくる。階段を上がる余力がないので、玄関脇でいつも館員と挨拶を交わして帰るだけのだが、彼女は自分の好きな絵が美術館のどこにあるか知っている、と語っていた……何とも素晴らしい話ではないか！

15 こういう身近な美術館の愛し方が、もっとできたらいいなと思う。

16 日本の公的な美術館に「所蔵品の断捨離^{注3}をしませんか」と提案すると、⁽³⁾首を捻^{ひね}るところが多い。それは税金で買われ、保管しているので勝手なことができない、手続きが煩雑である、とかの事情があるからだろう。

IV

17 しかし、公的美術館の所蔵品が本来われわれの税金で買われ、保管されているのであれば、それらはある意味、国民・県民・市民・市民の共有財産であるはずだし、それが有効に使われているかどうかは、われわれ納税者がチェックすべきことである。

18 もしそう重要でない同じ絵柄の浮世絵が二枚あるなら、一枚は売りに出す、その美術館でそれほど観覧の希望もない作品があれば、その作品を必要とする別の収蔵先を見つけ、死蔵品（美術館には決して展示をしない作品、重複する作品が必ずある）を生き返らせる算段をすべきである。そしてそれで得た資金で、新たに何か魅力的なものを購入する、^(c)キソンの品の修復費に充てる、あるいは展覧・保管設備を整えるなど、税金を無駄にしない方策を考えてはいかがですか、と提案している。

19 さて前に述べたように、公的な美術館は予算や稟議^{りんぎ}の問題もあって、オークションに参加することが難しい。こちらの見積もり通りに落札額が決定しないからである。

20 とところがアメリカの美術館は、積極的にオークションに参加してくる。それは先に記したように美術館の作品購入プロセスにフレキシビリティがあるからで、その運営は限られた人数の理事（トラスティ）によって行われているケースが多い。

V

21 その美術品が館蔵品の充実に「ア」する、また時には来館者数のアップに劇的に貢献するといった予測ができるとなれば、理事会で購入意志の合意を取り、後はオークションではここまでは競ろうという額を決め、銀行からいくら借りる、誰がいくら出して補充するかなども話し合われて、オークションに参加する態勢ができる。

22 そのあたりのことは、今ではやろうと思えばZOOM会議(注)ですんでしまうようなことであるが、私は日本でもこういう仕組みでできないか、と思っている。確かに今でも一部の私立美術館はオークションに参加しているが、起業家でアートに関心のある方が数人集まってお金を出し合い、ファンドをつくって財団を形成し、そこに一般からの寄付も募って、世界に誇れるメトロポリタン級の美術館を我が国につくるのである！

23 日本は公的でなければ、企業家の設立による私立個人美術館といったように、「その間」の存在のものがない。芸術を自分の近くに「マネキ寄せる」ためにも、この案は一考に値すると思うのだが、どうだろう。

24 フランスとアラブ首長国連邦が二〇一七年に共同でつくったのがルーブル・アブダビで、同館は「ルーブル」の名前を三〇年間使用でき（使用料は約五三〇億円）、その間は作品収集・美術館運営に関しても、ルーブル、ギメ、オルセー、ポンピドゥー・センターなどのフランス国立美術館機構から作品が貸し出され、各分野の専門家がキュレーション(注6)と作品購入のアドバイザーに就いている（貸借料と運営指導で約七五〇億円といわれる）。フランスの世界的建築家、ジャン・ヌーヴェルによる建築も素晴らししいし、その展示方法も世界の芸術を地区・文明別ではなく、時代分けし、いわば美術史を「イ」して同時代のアートを見せる、という斬新な手法だ。

25 ルーブルがオールドマスターと古代美術、ギメは東洋美術、オルセーは印象派・近代絵画、ポンピドゥーは現代美術の各専門家がサポートしているので、アブダビとすれば、世界的なブランドとその「エ」した知識、選択眼を利用できるメリットはかなり大きい。

26 また中国に目を向ければ、ポンピドゥー・センターが上海(シャンハイ)にできた。これはフランスと中国との合同事業で、五年間（二〇二四年まで）の期間限定プロジェクトである。「ウエストバンド・ミュージアム（西岸美術館）・プロジェクト」の一環で、イギリスの建築家デヴィッド・チップパーフィールドがデザインした美術館をポンピドゥーが使用する。

27 私は、このような「4」世界の優品アートを集積した、世界の誰もがそこに行きたいと溜め息(たま)を洩らすような美術館を日本にもつくるべきだと考えている。

（山口桂(やまぐちかづ) 『美意識を磨く オークション・スペシャリストが教えるアートの見方』）

（注1）ファンド運用……資金を使って利益を得ること。

（注2）琳派……江戸時代に流行した絵画の一流派。

（注3）断捨離……ここでは「不用なものを減らす」という意味。

（注4）フレキシビリティ……適応性や融通性。

（注5）ZOOM会議……オンライン会議の一種。

（注6）キュレーション……作品収集や展覧会などの企画立案。

問1 傍線部(a)～(e)と同じ漢字を含む語を、次の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は、

- (a) 16、(b) 17、(c) 18、(d) 19、(e) 20。

(a) シュウカン

16

- ① 最初から最後までイツカンした態度をとる。
- ② 動きに独特の間とカンキユウをつけて踊る。
- ③ 取り引きの際に交わしたヤツカンを改めて確認した。
- ④ 考えを改めるよう友人からカンコクされた。
- ⑤ カンセイの法則にしたがって真っ直ぐに進む。

(b) コウセキ

17

- ① 宛名のヒツセキを見て差出人の見当がついた。
- ② 前回の試合ではわずかの点差でセキハイした。
- ③ 会議のセキジを決めるのにも慎重な配慮が必要だ。
- ④ この国ではかつてボウセキ業が盛んだった。
- ⑤ 林の中はセキゼンとして人影一つなかった。

(c) キソン品

18

- ① アルコールはキハツ性の高い物質だ。
- ② 大会で選手団のキシユを務めることになった。
- ③ 社員の採用にあたってキオウは問わない。
- ④ 人生のブンキ点に差し掛かったようだ。
- ⑤ あの行動はジヨウキを逸していたと反省する。

(d) マネキ

19

- ① 新しい友人を両親にシヨウカイする。
- ② オリジナルのシヨウチに成功する。
- ③ 締め切りが迫りシヨウソウ感にかられる。
- ④ その人物は銀行員だとジシヨウしていた。
- ⑤ 事件のシヨウサイを報道によって知る。

(e) タクエツ

20

- ① 警察が明日からカタク搜索を開始するらしい。
- ② センタクしたての服をすぐ汚してしまった。
- ③ 事務処理に手が回らず外部へイタクする。
- ④ 家族でエンタクを囲んで楽しく食事をする。
- ⑤ 入り口にギョタクが飾られた旅館に泊まる。

問2 空欄 A 〽 C に入る語句の組み合わせとして最も適当なものを、次の中から一つ選
びなさい。解答番号は、21。

- ① A 〽 フランスは国土に見合って国立が多い
B 〽 元々国民の政治に対する関心が深く政治への要請も多い
C 〽 フランスも歴史的に、国家が国民の健康や医療の面倒を見ようという傾向が弱い
- ② A 〽 フランスは国土に見合って国立が多い
B 〽 元々国民の政治に対する関心が深く政治への要請も多い
C 〽 フランスではいくら医療費が高騰しても、そういう論議が広く国民に受け入れられる
- ③ A 〽 アメリカがあの大な国でありながら国立が少ない
B 〽 元々政治に頼る前に、自分たちで何かをしよう
C 〽 アメリカではいくら医療費が高騰しても、そういう論議が広く国民に受け入れられる
- ④ A 〽 アメリカがあの大な国でありながら国立が少ない
B 〽 元々国民の政治に対する関心が深く政治への要請も多い
C 〽 アメリカではいくら医療費が高騰しても、そういう論議が広く国民に受け入れられる
- ⑤ A 〽 アメリカと日本は他の国と比較すると国立が少ない
B 〽 元々政治に頼る前に、自分たちで何かをしよう
C 〽 アメリカも歴史的に、国家が国民の健康や医療の面倒を見ようという傾向が弱い

問3 次の文は本文の一部である。どこに入れるのが最も適当か。本文中の I 〽 V の中
から一つ選びなさい。解答番号は、22。

それと、所蔵作品が寄贈されているケースも多く、そうすると権利関係の確認で手間がかかる、
了承が得られない、などの問題も控えているらしい。

- ① I
- ② II
- ③ III
- ④ IV
- ⑤ V

問4 傍線部(1)「美術館の登場によってある意味、美術が身近なものから遠く隔たってしまった」とあるが、これはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号は、23。

- ① 美術館が登場したことで、それまで日常の中にあつた美術品が美術館で「純粹鑑賞」するものとなり、身近に置いて「用の美」を楽しむものではなくなったということ。
- ② 美術館が増えすぎたことで、これまで「用の美」を持つものとして実用的に用いられてきた美術品が、家屋の壁に掛けて「純粹鑑賞」するものへと置き換わったということ。
- ③ 美術館の登場によって住居の洋風化が促進され、それまで実用的なものであつた美術品の「用の美」が忘れられ、美術館で「純粹鑑賞」する対象へと変わったということ。
- ④ 美術館の増加によって、日本人は「用の美」の追求をやめて「純粹鑑賞」を尊重するようになり、美術品を日常で使うことなく、ただ秘蔵しておくだけになったということ。
- ⑤ 美術館とともに西洋的な「純粹鑑賞」の概念が導入され、「用の美」を楽しむ日本の伝統がなくなり、かつての美術品が単なる実用品と見なされるようになったということ。

問5 傍線部(2)「真の意味での『市民美術館』とあるが、これに関する説明として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は、24。

- ① 筆者は、「真の意味での『市民美術館』とは「市民の日常生活に近い存在でなければならぬ」と考えており、それを具現化した例として「金沢21世紀美術館」と岡山県倉敷市の「大原美術館」の二つの美術館を挙げている。
- ② 筆者は、「真の意味での『市民美術館』について「市民に身近な美術館」と「市民がつくった美術館」という二つの考えを持っており、前者の例として「金沢21世紀美術館」、後者の例として岡山県倉敷市の「大原美術館」を挙げている。
- ③ 筆者は、「真の意味での『市民美術館』は「市民に親しい存在であるべきだ」と考え、その例として「金沢21世紀美術館」を挙げているが、「二市民がつくった美術館」という意味で岡山県倉敷市の「大原美術館」にも別の存在意義を認めている。
- ④ 筆者は、「真の意味での『市民美術館』の条件として「展示法や運営法の新しさ」と「市民による創立」の二つを考えており、両者を具現化した例として「金沢21世紀美術館」と岡山県倉敷市の「大原美術館」を挙げている。
- ⑤ 筆者は、「真の意味での『市民美術館』について「展示法や運営法の新しさ」と「たしかな展示品の選別」という二つの考えを持っており、前者の例として「金沢21世紀美術館」、後者の例として岡山県倉敷市の「大原美術館」を挙げている。

問6 傍線部(3)「首を捻る」の、本文における意味として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は、25。

- ① 否認する
- ② あきらめている
- ③ 期待している
- ④ 疑問を示す
- ⑤ 首肯する

問7 空欄 ア・イに入る最も適当な言葉を、次の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は、ア 26、イ 27。

- | | | | | |
|---|----|------|--------------------------|-------|
| ア | 26 | ① 寄留 | ② 寄寓 <small>きぎゅう</small> | ③ 寄与 |
| | | ④ 寄進 | ⑤ 奇貨 | |
| イ | 27 | ① 混合 | ② 追尾 | ③ 度外視 |
| | | ④ 分裂 | ⑤ 横切り | |

問8 傍線部(4)「世界の優品アートを集積した、世界の誰もがそこに行きたいと溜め息を洩らすような美術館」とあるが、筆者がその具体例として挙げているものとして最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は、28。

- ① ルーブル・アブダビと、それを支援するポンピドゥー・センターなどのフランスの美術館。
- ② ルーブル・アブダビと、中国の上海にできたポンピドゥー・センター。
- ③ アラブ首長国連邦や中国の新しい美術館を支援するフランスの多くの美術館。
- ④ フランスと中国の二国間にまたがるポンピドゥー・センター。
- ⑤ 中国のポンピドゥー・センターと、デヴィッド・チップパーフィールドがデザインした美術館。

問9 本文を読んだ二人の生徒が、次のように話し合った。会話文中の [] にあてはまる内容を、「市民」「日本」の二語を用いて、三十字以内で書きなさい。解答番号は、 [29] 。

Aさん 本文は、三つの意味段落に分けられると思う。第一意味段落は、[1]段落から[15]段落まで。ここでは「市民美術館」の在り方が論じられている。第二意味段落は、[16]段落から[23]段落まで。この段落では、主に美術館の所蔵品に関することが話題になっている。第三意味段落は、[24]段落から最後まで。ここで筆者は、外国にできた美術館を例に出して、日本にもそういう美術館があったらいいと述べている。

Bさん その分け方には、ほくも賛成だ。ただ、ほくは、大きな視点に立てば、今、君の言った三つの段落のうち、第一意味段落と第二意味段落は、一つにまとめることができると思う。

Aさん どうしてそう思うのかな？

Bさん ほくは、三つの意味段落の終わりの部分に着目してみたんだ。すると、君が言ったように、第三意味段落では、筆者は世界的に注目されるような美術館が日本にもあればいいと述べているね。それに対して、第一意味段落と第二意味段落では、どちらも [] という願望が語られている。だから、第一意味段落と第二意味段落は、一つにまとめられると思うんだ。

Aさん なるほど。そういう考え方もできそうだね。

問10 本文の内容に合致しないものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は、 [30] 。

- ① 積極的にオークションに参加することのできる作品購入プロセスを備えた、ある程度大きな規模の美術館を日本につくっていくべきである。
- ② アメリカの公的でない美術館の成り立ちには、市民の寄付などが重要な役割を果たしているため、市民が自分たちでつくったという意識が強くなる。
- ③ 日本で初めて西洋美術と近代美術を展示した美術館は、岡山県倉敷市にある、大原孫三郎によって創立された大原美術館である。
- ④ 限られた人数の理事によって運営されていることの多いアメリカの美術館は、作品購入プロセスが弾力的であるため、オークションに参加しやすい。
- ⑤ 日本の公的美術館は断捨離を積極的に行うべきで、それには納税者のチェックを容易にするためにもオークションの利用が望ましい。

国語（20221113） 解答一覧

大問	小問	解答番号	正解
I	問 1	1	⑤
		2	④
		3	①
		4	③
		5	①
	問 2	6	③
		7	②
	問 3	8	記述問題
	問 4	9	②
	問 5	10	②
	問 6	11	④
	問 7	12	⑤
	問 8	13	③
	問 9	14	①
問 10	15	①	
II	問 1	16	⑤
		17	④
		18	③
		19	②
		20	④
	問 2	21	③
	問 3	22	④
	問 4	23	①
	問 5	24	①
	問 6	25	④
	問 7	26	③
		27	⑤
	問 8	28	②
	問 9	29	記述問題
	問 10	30	⑤